

現地から発信！等身大の南越前町

沢崎 雄登、児玉 紗奈

■活動内容

『人と土地を繋ぐ仕組み「ふるさと納税」を使って地域活性化』

ターゲットをふるさと納税や地方移住に興味がある人とし、南越前町に関わるきっかけを作る仕組みとして、「ふるさと納税」に着目した。以下はその活動である。

- ①『ふるさと納税返礼品』や『南越前町での暮らし』についてまとめ、SNSにて紹介
ふるさと納税返礼品生産者へのインタビューや自身で考案した調理方法についてまとめた。また、地方特有の自然の豊かさや厳しさなどについても紹介した。
- ②東京の福井県アンテナショップ2店舗にてPRを兼ねた吊るし柿配布
(株)杉休の「越前いぶし柿」200個を、東京にある福井県アンテナショップ『南青山291』、『食の國福井館』の2店舗にて無料配布した。サンプルには私達のInstagramアカウントにつながるQRコードが添付されており、他のふるさと納税返礼品を知る機会を作った。
- ③Instagramにて、吊るし柿セットの抽選プレゼント企画の実施
(株)杉休の「越前いぶし柿セット」を抽選で4人にプレゼントする企画を行った。

■町との関わり

- ①ふるさと納税返礼品の生産者へのインタビュー
取材先：畠山酒造(株)、(株)杉休、高野由平商店、山田農園、うすい農園
- ②花はす温泉そまやまへの宿泊や町内飲食店での飲食
- ③南越前町産の食品や特産品を使った調理・レビュー
※ハスの実を使った料理を『南条ごはん』掲載レシピに応募済

■情報発信

- ①ふるさと納税や地方移住に興味がある人をターゲットとし、InstagramやFacebookといったSNSにて「食と暮らし」についての情報を発信した。
- ②東京にある福井県アンテナショップ『南青山291』、『食の國福井館』の2店舗にて特産品の吊るし柿を配布した。
※吊るし柿には私達のInstagramにつながるQRコードを添付した。

■成果（変化）

- ①活動を通しての気づき
深掘りしていくと、南越前町には食や歴史といった部分で様々な魅力が隠されており、情報発信によって興味を抱いてくれる人が全国にいたことが分かった。ふるさと納税返礼品は商品の情報が少ないことが多いため、それぞれの製品の特徴や実食した感想の発信によって、ふるさと納税をする人の選択肢が増やせることに気づくことができた。
- ②自分自身の変化
これまでSNSをあまり利用してこなかったため、見る人がどのような情報を求めているかを意識して行動することがあまりなかった。しかし、この活動を通して、情報を受け取る人の立場に立った情報発信ができるようになった。例えば、投稿する時間帯やハッシュタグのワードなどを徐々に改善した。また、画像編集の際には情報を詰め込まず、要点をまとめることを意識した。
- ③今後について
InstagramとFacebookのアカウントは残しておき、不定期で南越前町についての情報を発信していく予定である。自分達でもふるさと納税を行い、南越前町にかかわりを持ち続けたい。

活動の流れ

1. 取材・体験



2. SNSでの発信



3. イベントの開催

